

国際人権法学会創立 30 周年記念

新国際人権法講座

2024 年 11 月全巻完結！

激動の今、あらためて現代世界・日本における
国際人権法の有り様や存在意義を考える



第 1 巻 国際人権法の歴史

小畑 郁・
山元一 編集

1 人権理念の歴史的展開と国際人権／井上典之 2 伝統的国际法における人間／立松美也子 3 戦間期国際連盟における人権について／窪 誠 4 連合国の戦後構想と憲章体制／竹村仁美 5 人権の自律化・主流化における第三世界のイニシアティブとその軌跡／前田直子 6 国連人権保障システムの歴史的現在／小畑 郁 7 韓国と台湾に見る民主化の達成と国際人権の発展要因／金 恵京 8 包括的差別禁止法と平等機関／林 陽子 9 平和と人権／坂元茂樹 10 民主主義・人権・自決権／櫻井利江 11 発展の権利概念の再定位／川眞田嘉壽子

定価 5,940 円（税込）

第 2 巻 国際人権法の理論

小畑 郁・
山元一 編集

1 序：国際人権法の方法論／阿部浩己 2 憲法制定権力と人権／山元 一 3 国家間関係と国際人権／葉師寺公夫 4 平和構築における国際人権規範／望月康恵 5 国際人道法と国際人権法／新井 京 6 刑事に関する国際法の発展における人権／越智 萌 7 国際投資法と国際人権の関わり／水島朋則 8 国連平和活動と国際人権—国連自体が負う人権保障義務／佐保紀仁 9 日本の憲法秩序と国際人権条約／齊藤正彰 10 グローバル立憲主義と（国際）人権／須網隆夫 11 国際人権法とジェンダー／近江美保 12 国際人権法と生命倫理および生命法（Bio-droit）／建石真公子

定価 6,380 円（税込）

第 3 巻 国際人権法の規範と主体

近藤 敦 編集

1 平等と無差別／近藤 敦 2 恣意的な拘禁の禁止と人身の自由／児玉晃一 3 人身取引対策の課題／吉田容子 4 強制失踪事件における調査・訴追義務の意義／北村泰三 5 人種差別の禁止／村上正直 6 性的マイノリティ／LGBTQ と国際人権法／谷口洋幸 7 先住民族の権利／上村英明 8 難民の権利／鈴木雅子 9 無国籍者の権利／付 月 10 子どもの権利／大谷美紀子 11 女性の権利／武田万里子 12 障害差別を超えて／川島 聡

定価 5,940 円（税込）

第 4 巻 国際的メカニズム

申 恵丰 編集

1 国連人権理事会の特別手続／根岸陽太 2 普遍的定期審査による国連人権条約制度への干渉？／吉田曉永 3 国連人権高等弁務官の任務と役割／滝澤美佐子 4 国連難民高等弁務官の任務と役割／川村真理 5 ILO 条約とその履行監視／吾郷眞一 6 国連人権条約機関の作業方法の調和／戸田五郎 7 国際司法裁判所における人権訴訟の展開と「相互融合」の功罪／山形英郎 8 国連人権条約における個人通報手続の一般化／申 恵丰 9 人権条約に基づく国家通報及び国家間裁判／石塚智佐 10 欧州人権条約体制の成果と課題／徳川信治 11 欧州社会憲章における集団申立制度の現代的発展／渡辺 豊 12 米州人権保障制度における人権侵害の処罰規範の発展と「条約適合性統制」／大内勇也 13 アフリカにおける人権ガバナンスと「遵守ギャップ」／杉木明子

定価 6,490 円（税込）

第 5 巻 国内的メカニズム／関連メカニズム

申 恵丰 編集

1 国際条約と国内法／紙谷雅子 2 日本の司法における国際人権法の解釈・適用の現状と課題／藤本晃嗣 3 日本のヘイトクライム対応における国際人権法の解釈・適用の現状と課題／冨増四季 4 ドイツ連邦憲法裁判所による欧州人権・基本権保障の実施／門田 孝 5 国際人権のフランス法上の位置づけと憲法／大藤紀子 6 1998 年人権法下のイギリスにおけるヨーロッパ人権裁判所判例法理の受容と反発／河合正雄 7 「先住民の権利に関する国連宣言」に関するカナダ政府の見解の検討／守谷賢輔 8 韓国における国内人権機関の役割／呉 美英 9 国際人権法の国内実施における国内人権機関の役割／山崎公士 10 国際刑事法と日本の国内法整備／後藤啓介 11 国際人権法の実施メカニズムとしての国際的刑事裁判機関／稲角光恵 12 混合裁判所の活動と成果及び課題／田村恵理子

定価 5,940 円（税込）

第 6 巻 国際人権法の動態

支える力、
顕現する脅威

阿部浩己 編集

1 議会と国際人権／大西洋世 2 外交における人権／古川浩司 3 ビジネスと人権／菅原絵美 4 実務法曹の貢献／武村二三夫 5 「自国第一主義」の広がり、自由主義の動揺／楠田弘子 6 国際的保護を必要とする人の大規模な移動に対する国際社会と EU の対応／中坂恵美子 7 災害と国際人権法／徳永恵美香 8 気候変動による人権侵害をめぐる因果関係の問題状況—判断枠組みの複雑性の要因分析／阿部紀恵 9 国際人権法から見たテロリズムの規制／熊谷 卓

定価 5,940 円（税込）

第 7 巻 国際人権法の深化

地域と文化
への眼差し

大津 浩 編集

1 国際人権保障における地域・自治体の位置づけ／大津 浩 2 自治体の人権条例に対する国際人権条約の影響／金子匡良 3 沖縄の自己決定権の危機的状況／大城尚子 4 地域自治権保障からみた国際人権の可能性／本庄未佳 5 「小農の権利に関する国連宣言」の意義と課題／小坂田裕子 6 国際人権法と文化多様性保障／久保庭慧 7 国際人権法における言語的多様性と「言語権」／高橋基樹 8 法曹に対する国際人権法教育—国際人権法を国内外で実施する法曹育成のために／小川隆太郎 9 「民族的出身」に基づく差別と国籍／岩沢雄司 10 国際人権法学会の軌跡—人権と学際性／江島晶子

定価 6,050 円（税込）

